

アル・アクサ洪水第733日目：ジェノサイド発生から2年：イスラエルの虐殺は続く、抵抗勢力が反撃

Palestine Chronicle、2025年10月7日、脇浜義明訳



イスラエルはガザでの虐殺を続けている。(Photo: social media, via QNN)

主要事項

*イスラエル軍はガザ回廊南部への攻撃を強化した。ハーン・ユニスやラファを砲撃、戦車砲撃、空爆攻撃した。援助物資配給センター付近では子ども1人を殺害し、数人に負傷を負わせた。

*ハーン・ユニス南方の回廊周辺地の入植地で警報が鳴り、ヘリコプターが救助活動を行った。

*ガザのパレスチナ保健省によれば、2023年10月7日以降のイスラエル軍の攻撃の犠牲者は、死者67,074人、負傷者169,430人で、その多くは女性と子どもである。

最新情報

10月7日 11:45 pm

*パレスチナ・クロニクル：アル・アクサ洪水作戦から2年を迎え、ハマス幹部のファウジ・バルフムは、イスラエルの占領を無くし、ガザ復興を確実にすることができない合意はしないと述べた。

10月7日 11:06 pm

*アル・ジャジーラ：ネタニヤフ首相は「我々は決定的な日々におり、戦争の目的をすべて達成するように奮闘を続ける」と述べた。さらに、「イスラエルは、すべての人質を取り返し、ハマスの支配を打破し、ガザが二度とイスラエルの脅威とならないように、努力を継続する」と述べた。彼は、イスラエルは中東のイラン軸を潰して、中東の形相を変えた」と述べた。

主張し、イスラエル国の存続を確実にすると誓った。彼は、現在行っている7つの戦線での戦いを「祖国、イスラエル国の存続、未来のための決戦」と表現し、「我々に手を上げる者は誰であれ前例のない壊滅的打撃を受けるだろう」と言った。

*イスラエル・メディア：数千人の入植者が、2023年10月7日2周年に合わせて、テルアビブ中心部の「人質広場」に集まった。

*アル・カヘラ通信¹：ハマス交渉団長ハリル・アル・ハヤはアル・カヘラ通信に対して、ハマスがシャルム・エル・シェイクに来たのは「ガザの住民を殺害する戦争を止めるための真剣で責任ある交渉をするため」と語った。彼は、交渉団は「パレスチナ人民の安定と国家樹立と自治への希望と願望を担っている」と述べ、「アラブ諸国、イスラム諸国、そしてトランプ米大統領が戦争の恒久的終結に向けて行った努力」の感謝の意を表した。アル・ハヤは、ハマスは責任をもって戦争をやめる用意があるとはっきり言ったが、イスラエルがなおも「殺戮とジェノサイド」を続けていると非難し、「イスラエルは信用できない、これまで一度も約束を守ったことがない」と言った。彼は、ハマスの当面の目標は、戦争終結、捕虜交換、人質釈放であると繰り返して言った。

*WHO：世界保健機構 (WHO) のテドロス・アダノム・ゲブレイエス事務局長は、「我々はこれまで以上に中東和平に近づいている」と述べた。彼は、イスラエルとパレスチナ双方が捕虜や拘束者の即時・無条件解放を求めた。

10月7日 11:04 pm

*パレスチナ・クロニクル：イスラエルが、大手メディアや西側政府が金で買収した評論家や知識人とともに、ガザ戦争を語るたびに、すでに嘘と証明されている10月7日事件に関するでっち上げ²を繰り返すのは何故かと疑問に思う人がいるだろう。[ロバート・インラケシュの小論](#)を読みたい。

10月7日 9:12 pm

*CNN：CNNが引用したイスラエル当局者によると、ロン・デルマー戦略問題担当相は水曜日にシャルム・エル・シェイクでの停戦交渉に参加する見込みだ。同報道はさらに、ジャレッド・クシュナーとスティーブ・ウイトコフ両米特使がシャルム・エル・シェイクに到着次第、デルマー氏が参加すると付け加えた。

*アクシオス：スティーヴン・ウイトコフとジャレッド・クシュナーがガザに関する合意を目指す交渉に参加するために、エジプトのシャルム・エル・シェイクへ向かった。

*アル・ジャジーラ：カタール外務省の報道官は、首相兼外務大臣のムハンマド・ビン・アブドゥルラフマン・アル・サーニーがシャルム・エル・シェイクへ行って、トランプのガザ計画に関する交渉に参加すると発表した。

*アル・ジャジーラ：トルコ政府の高官がアル・ジャジーラに対して、トルコ国家情報局長官のイブラヒム・エル・カリンが、明日、シャルム・エル・シェイク協議に参加すると語った。

*アル・ジャジーラ：アル・ジャジーラ特派員は、イスラエル軍機が現地時間8:10ちょっと前に、ガザ市上空で照明弾を投下したと報じた。

10月7日 8:09 pm

*パレスチナ・クロニクル：ネタニヤフは、「イラン枢軸を粉碎した」と宣言したが、依然としてハマスが存在していることを認め、イスラエルが初めに発表した戦争目標を達成できなかったことを改めて強調した。

10月7日 8:08 pm

*アル・ジャジーラ：イスラエル軍報道官は、今日ガザ回廊南部の戦闘でイスラエル兵2人が重傷を負ったと報告した。

*CNN：関係筋の話では、今日、スティーヴン・ウイトコフとジャレッド・クシュナーがシャルム・エル・シェイク会議に参加する。

*アル・ジャジーラ：西岸地区へブロン³の南のあるアド・ダヒリヤ市出身の囚人、アフマド・ハテム・クデイラトがイスラエル刑務所で死亡した。

訳注1：エジプトの情報機関に近い通信社。

訳注2：ハマスが赤ちゃんの首をはねたとか、女性を集団レイプしたなどのデマを流して、自分たちのジェノサイドを正当化する、といったものの。

*ホワイトハウス：トランプ大統領は人質家族会へのメッセージの中で「10月7日の恐ろしい事件以来私は人質をすべて解放する決意だった」と述べ、「ハマスが二度と同じ行為をできないように、ハマスを消滅させる働きをしてきた」と付言した。大統領は、紛争と「反ユダヤ主義の波」を終結する決意を改めて表明し、「中東及び世界各地の終わりのない戦争を終わらせるために全精力を傾け」「力による平和を追求する外交政策を回復する」と誓った。

*ハマス：ハマス幹部はアル・ジャジーラに対し、シャルム・エル・シェイフ会議2日目が終わりに、撤退計画と人質解放のスケジュールについて協議されたと語った。ハマス代表団は人質解放の各段階とイスラエル軍のガザ撤退段階と連動させるべきだと主張し、「最後の人質解放は占領軍の撤退完了と一致させるべきだ」と言った。また、ハマスは、恒久的停戦とイスラエル軍の完全撤退を国際社会が保証する必要性も主張している。

10月7日 6:14 pm

*パレスチナ・クロニクル：過去2年間のイスラエルのガザ攻撃で最も大きな犠牲を払ったのは子どもたちで、今日、ユニセフは61,000人の子どもが死亡または負傷したと発表した。

10月7日 5:58 pm

*アル・クッズ旅団声明：シオニストが戦争終結を約束して捕虜交換協定を結ばない限り、人質は日の目を見ることはない。我々レジスタンスの全グループは戦争と人民の苦しみを終わらせる道を見つけるためにあらゆる努力を惜しまないが、我々レジスタンスの武器はパレスチナの地を解放し、敵と戦うためのもので、その目的が達成されるまで放棄されない。

*アル・ジャジーラ：ノルウェーの外務次官はアル・ジャジーラに対し、ノルウェーは国際法違反に苦しむガザ住民の側に立ち、「イスラエル・パレスチナ紛争が続く限り、中心的な役割を担う」と言った。

*アル・クッズ旅団：今朝我々はガザ市アッシュアティ（海岸）難民キャンプ北西に駐留していたイスラエル兵士と車両を迫撃砲で攻撃した。

*アル・ジャジーラ：南アフリカの国際関係・協力局長はアル・ジャジーラに対し、イスラエルは「長年にわたって戦争責任を逃れてきた」と述べ、「イスラエルは戦争犯罪とジェノサイドを犯してきた」と指摘した。「パレスチナ人は組織的に抹消されつつある」と言った。彼は、和平は公正でなければならず、当然パレスチナ人の帰還権も保証されなければならないと強調した。

*アル・ジャジーラ：国際ジェノサイド研究者協会の会長は、イスラエルのガザにおける行為は「組織的なジェノサイドで戦争犯罪」に相当すると言った。会長は、イスラエルが国際法を遵守しているジェスチュアをしていることを否定し、「イスラエルは戦闘員よりもはるかに多くの民間人を殺害した」と指摘した。

*イエディオト・アハロト：イスラエル政府は大規模なデジタル・プロパガンダ・キャンペーンに約1億45000万ドルを計上した。これは、SNSプラットフォームとAI（人工知能）アプリケーションを武器として活用する取り組みで、イスラエルにとってガザ戦争開始以来最大の広報活動である。

10月7日 4:11 pm

*パレスチナ・クロニクル：アル・アクサ洪水作戦からちょうど2年経過、パレスチナ抵抗グループは、抵抗こそが解放への唯一の道であることを再確認し、犠牲になった指導者たちを称え、イスラエルのガザ・ジェノサイド戦争に抗して戦いを続けると誓って、2周年を迎えた。

*米務省：マルコ・ルビオ国務長官は、トランプ大統領の指導のもとで、米国は人質全員解放とハマスのガザ支配を終わらせる活動の陣頭指揮を執っていると述べた。さらに彼は、「わが国が、イスラエルの安全を保障するだけでなく、未来の世代のために中東の平和と繁栄をもたらす恒久的和平を構築する取り組みを主導している」と述べた。

*アル・ジャジーラ：アル・ジャジーラ特派員は、イスラエル戦闘機がガザ市の南部地域を空爆していると報じた。

10月7日 3:54 pm

*パレスチナ・クロニクル：エジプトとカタールの高官は、停戦とイスラエル軍のガザ撤退に向けての交渉が進展しているが、それを実施する具体策や保証は未定のままである、と言った。

*パレスチナ・クロニクル：イスラエルは数百万ドルを投じてハスバラ工作人に崩れた自国の評判を取り繕う偽情報を流させている³。しかし、世界はイスラエルのプロパガンダに付き合う時間はない。[イクバル・ジャサットの小論](#)を読まれたい。

10月7日 3:31 pm

*PFLP：パレスチナ解放人民戦線（PFLP）は、2023年10月7日作戦は、紛争の方程式を一変し、パレスチナの大義を世界に再意識させた戦略的転換点であったと言った。

*イスラエル軍：イスラエル民間防衛隊は、ドローンの侵入が疑われたために南部のエイラートで警報を鳴らしたと報告した。軍は、空軍が、警報の原因となったイエメンから発射されたドローンを迎撃したと発表した。

*アル・ジャジーラ：病院筋によれば、今朝からのイスラエル軍のガザ回廊各地への攻撃で、パレスチナ人11人が死亡した。

10月7日 2:18 pm

*パレスチナ・クロニクル：多くの点で国際サッカー連盟（FIFA）の姿勢は西側諸国のそれに似ている。西側諸国は正義と民主主義を口にしながら、イスラエルとの付き合いではそれらを無視している。

10月7日 2:04 pm

*アル・ジャジーラ：アッシーファ病院の院長はアル・ジャジーラに対し、ガザでは2,000人の子どもと4,000人の女性が手足を失い、治療も受けられない状態だと語った。義肢をつけないと深刻な合併症になると言った。さらに彼は、完全な麻痺に陥った患者が4,000人いるが、医療システムは適切な治療を提供できないと言った。「ガザの医療システムはほぼ崩壊しており、手足切断手術を受けた人への適切なケアができない」と言った。

*アル・クッズ旅団：アル・クッズ旅団は、ガザ市テル・アル・ハワ地区へ侵攻してきたイスラエル軍車両を爆破した写真を公開した。

*パレスチナ・メディア：ナセル総合病院の報告では、ハーン・ユニスで人道支援物資配給を待っている人々へのイスラエル兵の発砲で、パレスチナ人1人が死亡した。

*パレスチナ・メディア：病院筋によれば、今日夜明けからのイスラエル軍のガザ回廊各地への攻撃で、パレスチナ人8人が死亡した。

*アル・ジャジーラ：アル・ジャジーラ特派員は、イスラエル軍戦闘機がガザ市のテル・アル・ハワ地区とアッサブラ地区を空爆したと報じた。

*アル・ジャジーラ：アル・ジャジーラ特派員は、ガザ市東部のアッシュジュジャイヤ地区とアットゥファーフ地区が空爆と砲撃を受けたを報じた。

*エジプト外相：バドル・アブデル・アティ外相は、ガザ合意の第一段階の実施には、ガザ回廊のイスラエル軍を移動させることが必要だと言った。外相は、現在の交渉の目的は「人質解放と援助物資流入の促進」だと説明した。

10月7日 11:04 am

*アル・ジャジーラ：情報筋によると、イスラエル軍の救助用ヘリコプターがハーン・ユニスの南方のガザ回廊周辺地に着陸した。

*イスラエル軍：イスラエル民間防衛隊は、ガザ国境近くのネティヴ・ハアサラで警報が鳴ったと報告した。

*パレスチナ抵抗勢力の諸グループの声明：敵は2年間にわたりジェノサイド戦争をやってきたにもかかわらず、我々を殲滅できなかったし、人質を軍の力で取り返すことができなかった。アル・アクサ洪水戦争は我々のレジスタンスの歴史的な節目で、進行している陰謀や共謀に対する当然の反応である。我々はアラブとイスラムの諸国の人民に、パレスチナと抵抗運動を支持して街頭で立ち上がれと呼びかける。

*チャンネル12：何人かの閣僚の自宅前で、人質返還とガザ戦争終結の合意をすぐに行うことを求めるデモがあった。

訳注3：日本の中東問題識者が、「ガザ人道財団」を美化し、パレスチナ人を殺害しているのはハマスで、イスラエルが金と武器を与えて破壊活動をやらせている暴力グループをハマス支配に対する民衆の反乱と書いたのを、先日携帯電話ニュースで見た。

*アル・ジャジーラ：アル・ジャジーラ特派員は、ハーン・ユーニス中部と南部に「イスラエル軍の戦車とヘリコプターが銃撃と砲撃を行っている」と報じた。

*パレスチナ・メディア：救急隊の報告では、ラファの援助物資配給センター近くでイスラエル軍の銃撃で7人のパレスチナ人が負傷した。

*パレスチナ・メディア：アル・アマル病院の報告によれば、ハーン・ユーニスの5番街への空爆で、子どもが1人死亡し、数人が負傷した。

10月7日 8:23am

*ニュースのまとめ

・ネタニヤフ・コメント；ネタニヤフ首相は米国のポッドキャストに、イスラエルはガザ戦争終結に近づいていると思うと書いた。彼は、イスラエルがハマスを粉砕し、人質解放で戦争がおわり、ハマスの支配も終わると主張した。

・トランプ・コメント；トランプ米大統領は、ニュースマックス⁴に対し、ガザに関するディールで合意に近づいていると期待していると述べた。

・UNRWA 報告；2年間にわたるガザ戦争で66,100人以上が死亡した。

・ハーン・ユーニスの悲劇；ハーン・ユーニスの北ノアル・カララ沿岸地帯で地滑りで避難民テントが埋まり、パレスチナ人3人が死亡した。ハーン・ユーニス北西部で避難民テントをイスラエル軍が砲撃し、8人が負傷した。

・ガザ市の死傷者；アッシーファ病院の報告によると、ガザ市南部のアッサブラ地区へのイスラエル軍の砲撃で、3人が死亡した。

・ガザ市攻撃；イスラエル占領軍の戦闘機がガザ市内を空爆し、同時に地上からも市内の数か所を砲撃した。

・住宅破壊；イスラエル軍はアッサブラ地区で爆発物を仕掛けたロボット車両3台を爆発させて、住宅を破壊した。また、ガザ市北西部のアル・カラマ地区とインテリジェンス・タワー地区で、爆発音が連続して聞こえた。

・ハーン・ユーニス；イスラエル軍戦闘機がハーン・ユーニスの中心部を空爆した。

・ヌセイラト難民キャンプ；イスラエル海軍の砲艦がヌセイラト難民キャンプの南西沿岸地区を砲撃した。

・ガザからのロケット弾発射；ガザ回廊北部からイスラエルへロケット弾が発射されたが、負傷者の報告はない。チャンネル12はロケット弾発射を確認し、広場に落下したと報じた。ガザ回廊周辺部のネティブ・ハアサラで警報が鳴った。

・西岸地区襲撃；イスラエル占領軍はカルキリヤの住宅地を襲い、数人を逮捕した。逮捕者の中には数時間前にイスラエル刑務所から釈放されたばかりの人も含まれている。また軍は、ラマッラー北部のシャラズーン難民キャンプを襲撃、数軒の家をガサ入れした。

10月7日 1:13am

*ニュースのまとめ

・前向きな協議とロードマップ；アル・ジャジーラの情報筋によると、協議の始まりは「前向き」で、この会議のロードマップとメカニズムが確立された。

・ハマス；ハマス代表団は、イスラエル軍のガザ攻撃の継続は、人質解放プロセスへの傷害になると仲介者に伝えた。

・ハマス代表団；ハマス代表団には、イスラエルのドーハ攻撃による暗殺を生き延びたハリル・アル・ハヤとザヘル・ジャバリーンが含まれている。

・グローバル・スムード船団のその後；船団に乗船していた数人のトルコ人活動家が帰国した。トルコ人36人を含む137人が特別便でイスタンブールへ移送された。活動家たちは、気候運動活動家のグレッタ・トゥーンベリがイスラエル軍による拿捕のとき、「非常にひどい扱いをされた」と言った。

・西岸地区侵攻；イスラエル占領軍は、ラマッラーの北にあるビルゼイトを襲撃した。

10月7日 12:04am

*ホワイトハウス；トランプ米大統領は、イスラエルのネタニヤフ首相をはじめすべての関係者が提案したガザ計画に肯定的態度を示したと述べた。大統領は「ハマスも大変重要な点を受け入れたと思う」と言った。大統領は「人質に関する

訳注4：右翼、特にオルタナティブ右翼と親しいニュース・オピニオン・ウェブサイト。

ディールで消極的になるな」とネタニヤフ首相に言っていないと述べ、世界すべての国がガザ計画の最終的実現に向かって協力していると強調した。「このディールは信じられないほど素晴らしい形でみんなから合意された」と言った。

*パレスチナ・クロニクル：釈放された自由の船団活動家のグレタ・トゥーンベリは、ガザから目を離すなど世界に訴え、同時にイスラエルのガザ・ジェノサイドに加担する諸国の政府を非難した。

10月6日 11:08 pm

*パレスチナ・クロニクル：パレスチナ・クロニクルのポッドキャスト [FloodGate](#) ではバルードとインラケシュがトランプのガザ計画と言われるものを分析し、西側諸国外交がジェノサイドを降伏へ変えようとしていることを明らかにしている⁵。

*パレスチナ赤三日月社：西岸地区へブロン北にある町 Beit-Ummal をイスラエル占領軍が襲撃し、10代のパレスチナ人少年が負傷した。

*アル・ジャジーラ：駐イスラエル米大使マイク・ハッカビーは、彼が言う「ガザの明日」に取り掛かる前にハマスを武装解除すべきだと言った。さらに彼は、アラブとイスラムの諸国はトランプ計画を支持しているけれど、「ガザに平和維持軍派遣にどこまで協力するか分からない」とアラブに関する不信感を表明した。

10月6日 9:23 pm

*パレスチナ・クロニクル：スペインのフェルナンド・グランデ・マルカス内務相は、今日、グローバル・スムード船団に乗っていたスペイン人活動家から、イスラエルに拘留されているとき虐待されたという報告を聞いた後、国際刑事裁判所への起訴を示唆した。

*アル・ジャジーラ：情報筋によれば、西岸地区でイスラエル占領軍はジェニンの南にある町カバティヤを襲った。

10月6日 8:34 pm

*パレスチナ・クロニクル：イスラエルはレバノン休戦違反を続け、今日も、南レバノンをドローン攻撃し、夫婦が死亡し、少なくとも1人が負傷した。

*ホワイトハウス：ホワイトハウス報道官は、ガザ戦争終結に向けて行われているシャルム・エル・シェイフ協議は「技術的な性質」で、ステイヴン・ウイトコフとジャレッド・クシュナーが参加すると発表した。彼女は、すべての関係者がトランプ大統領の警告とガザ戦争終結に同意したと述べ、米政府は「ガザ計画の速やかな実行」を望んでいると言った。

10月6日 8:24 pm

*パレスチナ・クロニクル：UNRWAは、2年間にわたるジェノサイド戦争でガザは壊滅状態にあると言った——数万人が殺害され、大量飢餓に見舞われ、全面的な援助制限の中で住民が生存危機に陥っている。

10月6日 8:06 pm

*アル・カッサム旅団：我々は、ガザ市南のテル・アル・ハワ地区でイスラエル兵と軍車両が集まっているところを迫撃砲で攻撃した。

*アル・ジャジーラ：自由の船団活動家としてイスラエルに逮捕され釈放されたグレタ・トゥーンベリはアル・ジャジーラに対し、自分と仲間の活動家が「ガザ・ジェノサイドを続けるイスラエルによって不当に扱われた」と語った。彼女は、「ガザではジェノサイドが起きている、世界はそれを阻止するために介入すべきだ」と言った。彼女は、ガザの人権保護をしていないとして西側諸国政府を非難し、ジェノサイドを終わらせる国際法が規定する義務を果たし、イスラエルとの共謀をやめよと言った。「西側諸国の政府が声を上げなかったのだから、私たちが声を上げて、ガザで起きていることを世界に訴えようとしたのです。「私たちは援助物資を届けようとしただけでなく、イスラエルの占領と抑圧を終わらせることを目的としたのです」と語った。

訳注5：トランプ計画はニューヨーク宣言から「パレスチナ国承認」という中心テーマを抜いてパクったもの。